

(10) 未成熟そらまめ

ア 各病害虫の防除

さび病

赤色斑点病(チョコレート斑点病)

立枯病

輪紋病

えそモザイク病

モザイク病

アブラムシ類

ネキリムシ類

マメハモグリバエ

ア 各病害虫の防除

【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病害虫)

さび病

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発病を認めたら、薬剤を施用(散布)する。

赤色斑点病(チョコレート斑点病)

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 4月上旬ごろから薬剤を施用(散布)する。

立枯病

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病ほ場は2～3年輪作する。

※発病ほ場は消石灰を200kg/10aほど施用し、土壌酸度矯正する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を施用(散布)する。

輪紋病

(判断、防除に関する措置)

- 1 輪紋病は1～2月から発病し4月頃まん延する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を施用(散布)する。

えそモザイク病

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病株を速やかに抜き取る。

※本県では、ソラマメえそモザイクウイルス(*Broad bean necrosis virus*)による本病の発生が認められる。本病は土壌伝染性で、土壌微生物であるポリミキザ菌が媒介するとされている。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 バスアミド微粒剤/ガスタード微粒剤で土壌消毒する([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照)。

モザイク病

(耕種的・物理的防除)

- 1 無病株から採った種子を使う。
- 2 苗床には発芽直前から白寒冷紗をかけ、有翅(し)アブラムシの飛来を防ぐ。
- 3 本ぼでは、シルバーポリマルチを使用する。
- 4 発病株を速やかに抜き取る。

(薬剤防除)

- 1 アブラムシによって媒介されるため、本項の[アブラムシ類の防除](#)に基づき防除を行う。

アブラムシ類

(耕種的・物理的防除)

- 1 育苗時からアブラムシ類の発生に注意する。黄色粘着テープを施設の出入口や開口部の近く、若しくは苗の近くにつるし、有翅(し)成虫が飛来していないか確認する。
- 2 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。

- 3 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。
- 4 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 生物農薬は予防的に散布する。
- ※天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、[農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」](#)を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。
- ※アブラムシ類の生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。また、アブラムシの種類と天敵の組み合わせによっては、効果が認められない場合がある。
 - 2 気門封鎖剤を散布する。
 - 3 発生が予想される場合には、薬剤を施用(散布)する。
 - (1) 抵抗性の回避のため、異なった群から薬剤を選びローテーション散布を行う。
 - (2) 作物や剤型、使用方法等によって異なるので、ラベル等で各薬剤の登録内容をよく確認してから使用すること。特に複数の剤型や使用方法で登録のある薬剤は、総使用回数に留意する。

ネキリムシ類

- ・[共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発生が予想される場合には、薬剤を施用(散布)する。

マメハモグリバエ

- ・[共通防除の章のハモグリバエ類の防除の項](#)を参照する。

(物理的・耕種的防除)

- 1 薬剤防除のみでは防除が困難であるため、耕種的・物理的防除法も組み合わせて実施する。
- 2 成虫は黄色に強く誘引される性質があるので、黄色粘着板を用いて発生をモニタリングし、初期防除を徹底する。
- 3 成虫の侵入を防止するため、施設開口部には防虫ネットを設置する。また、紫外線カットフィルムの利用も有効である。
- 4 ほ場周辺部の雑草などにも寄生するので、特にキク科雑草を除去する等、ほ場衛生に努める。
- 5 収穫後の被害残さは発生源となるので、土中に埋設するか、ビニール被覆し熱処理を行う。
- 6 収穫終了後、地表の蛹の防除対策として、施設を密閉し土壌表面をビニール等で被覆することにより蒸し込む。水分のある植物がない状態で最低地温 40℃以上が数日続けば、蛹はほぼ死滅し、羽化成虫も1日で死滅する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 生物農薬は予防的に散布する。
- 2 発生が予想される場合は、薬剤を施用(散布)する。